

「サンダンス・インスティテュート／NHK賞2016」 決定のお知らせ

【受賞作】「オー ルーシー！」 Oh Lucy!
【受賞者】平柳敦子/日本 Atsuko Hirayanagi

共同脚本：ボリス・フルーミン Boris Frumin

世界的映画作家の登竜門となっている「サンダンス・インスティテュート／NHK賞」。この受賞者が、アメリカ・ユタ州で開催された「サンダンス映画祭」で1月30日（日本時間：1月31日）に発表されました。3年ぶりの日本人受賞となります。受賞者の平柳敦子氏は、短編版「Oh Lucy!」（主演・桃井かおり）が第67回カンヌ映画祭学生映画部門において日本人初入賞を果たすなど、これまでも国際映画祭で数多くの賞を受賞しており、今回の受賞により、一層の活躍が期待されます。



長野県生まれ、千葉県育ち。高校二年からアメリカに留学し、サンフランシスコ州立大学、ニューヨーク大学 Tisch School of the Arts 映画制作学科大学院卒業。これまでに短編作品「Wake」「もう一回」が国内外の映画賞を多数受賞している。大学院卒業制作作品の短編版「Oh Lucy!」は主演に桃井かおりを迎え、サンフランシスコ短編映画祭、カンヌ映画祭学生映画部門、トロント国際映画祭、サンダンス映画祭など、その他多数の国際映画祭で25以上の賞を受賞している。本作「オー ルーシー！ Oh Lucy!」が長編映画監督デビューとなる予定。

【あらすじ】東京で働く55歳の独身OL節子は、地味で個性のない日常をただ生きていた。ひょんなきっかけで入会した一風変わった英会話教室で「ルーシー」という名前と金髪のカツラを与えられ、教室では「ルーシー」になりきるように言われる。節子の中で眠っていた感情を「ルーシー」が解き放ち、そのアメリカ人講師に恋をする。そんな幸せもつかの間。アメリカ人講師は、節子の姪と一緒に日本を去ってしまう。自分が置かれた人生に納得ができない節子は、二人を追いかけてアメリカへ旅立つ。そこで見つけたものとは。

【サンダンス・インスティテュート／NHK賞とは】

NHKと俳優・映画監督であるロバート・レッドフォード主宰のサンダンス・インスティテュートが共同で始めた賞。世界中から応募された、映像化を前提とした脚本の中から、優秀な作品に授与する。完成した映画を評価する賞は世界中に多くあるが、脚本段階で選び、制作を支援する活動は稀である。次世代の映像作家の発掘と支援を通じ、映像文化への貢献と文化交流を目指す、このNHKの文化事業は世界的にも高く評価されている。1996年に開始して今年で20回目。今回の受賞者を入れ、これまでの受賞者は62名。

受賞作品「オー ルーシー！」は、サンダンスとNHKが連携して行う「NHK脚本ワークショップ」でサポートを受けた作品。「NHK脚本ワークショップ」とは、サンダンス・インスティテュートの講師をアメリカから招聘し、NHKが選抜した脚本について短期集中でアドバイス、ブラッシュアップを行う、世界に通用する日本人映像作家を育成・支援する事業で、2012年より毎年実施している。

過去のNHK賞受賞作品

高い評価を得た作品に、「セントラル・ステーション」（ウォルター・サレス監督/ブラジル/ベルリン映画祭グランプリ）、「彼女を見ればわかること」（ロドリゴ・ガルシア監督/メキシコ/カンヌ映画祭ある視点部門グランプリ）、「ウイスキー」（ホアン・P・レベラ&パブロ・ストール監督/ウルグアイ/東京国際映画祭グランプリ）。近年では、「ハッシュパピー バスタブ島の少女」（アメリカ）が、サンダンス映画祭審査員大賞、カンヌ映画祭カメラドール、アカデミー賞4部門ノミネートと話題となる。また日本では「酒井家のしあわせ」で受賞した呉美保監督がその後、モントリオール世界映画祭ワールド・コンペティション部門にて最優秀監督賞受賞するなど活躍中。